Form No. 3383-749 Rev A

ローフローキット
Multi-Pro 5800 ターフスプレーヤ
モデル番号130-7258

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

重要 スプレーヤ本体に Pro Control™ XP Spray System Toro のモデル番号 41604 が搭載されている必要があります。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

⚠ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- **自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがねゴグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。**
- **散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。**
- ***上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。***
- **散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認し、さらに、すべてのバルブについてそれぞれ3回の開閉操作を行ってください。**
- **十分な量の水と石鹸を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。**

取り付け

キットを取り付ける

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、スプレーヤーのポンプとエンジンを停止し、始動キーを抜き取る。
2. 個別ブームバルブアセンブリを取り付けブラケットに固定しているボルトをゆるめる外さないこと 図 1。

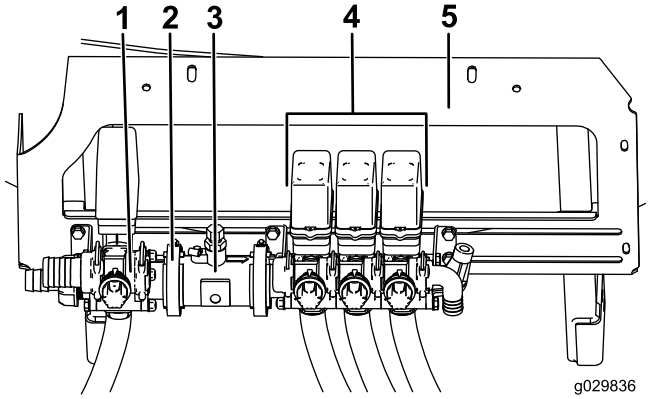

図 1

1. 攪拌バルブ
2. ワーム・クランプ
3. フローメータ
4. 個別ブームバルブアセンブリ
5. 取り付けブラケット

© 2015—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3383-749 A

3. 攪拌バルブをフローメータに固定している既存のワームクランプをゆるめる図 1。
4. ワームクランプとガスケットを外し、フローメータ個別バルブアセンブリを、攪拌バルブから慎重に取り外す図 2。

   注 クランプもガスケットも保管する。

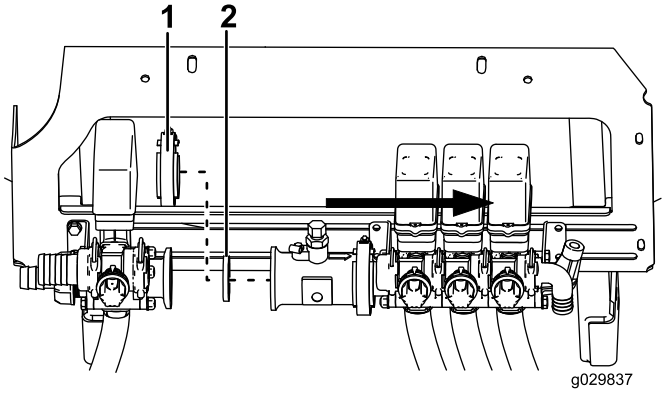

図 2

1. ワーム・クランプ
2. ガスケット

5. 既存のガスケットは、攪拌バルブにはまる圧力逃がしバルブアセンブリのフィッティングに取り付ける図 3。

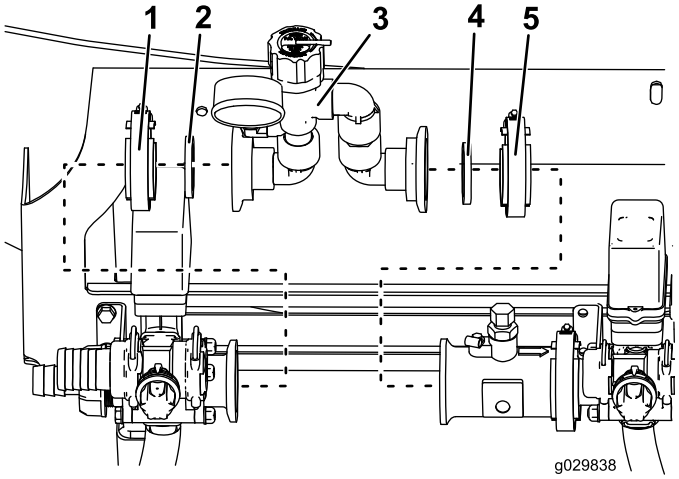

図 3

1. 既存のワームクランプ
2. 既存のガスケット
3. 圧力逃がしバルブ
4. 新しいガスケット
5. 新しいワームクランプ

6. 圧力逃がしアセンブリに既存のワームクランプを取り付ける図 3。
7. 圧力逃がしアセンブリを、攪拌バルブのボディに面一となるように移動する。
8. クランプを締め付けて圧力逃がしアセンブリを攪拌バルブのボディに固定する。
9. 新しいガスケットを、圧力逃がしアセンブリの空いているフィッティングに取り付ける図 3。
10. 新しいワームクランプを、圧力逃がしアセンブリの空いているフィッティングに取り付ける図 3。
11. フローメータが圧力逃がしアセンブリと面一になるように、フローメータ個別バルブアセンブリを慎重に移動させる図 4。

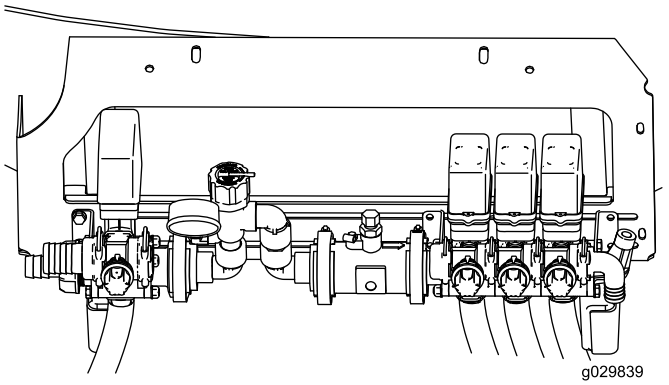

図 4

12. クランプを締め付けて圧力逃がしアセンブリをフローメータに固定する。
13. 個別ブームバルブアセンブリをブラケットに固定しているボルトを締め付ける。
14. すべてのホースクランプが適切に締め付けられていることを確認する。

運転操作

圧力逃がしバルブアセンブリの調整

重要 水圧を高くして散布する場合は、圧力逃がしアセンブリがフローを規制しているために希望する水圧が出ない場合があります。

注 これを避けるため、ノズルの種類が変わった場合には、圧力逃がしアセンブリの調整を行ってください。

1. 試験散布のできる場所にマシンを移動させる。
2. 左右のブームを散布位置に降下させる。
3. ブームスイッチ 3 つ全部とマスタースイッチを ON にする。
4. 希望する散布量で散布を行う。
5. 左右のブームを OFF にする
6. 圧力逃がしアセンブリについている水圧計の読みとダッシュボードについている水圧計の読みとの差が 34.5kPa (5psi) になるように逃がしバルブを調整する。
7. ブームを何度かON/OFFさせて Pro Control™ XP が適切に応答していることを確認する。